

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名		急傾斜地崩壊対策等事業		路河川名等	広瀬南					
事業毎の通番		12	市町村名	長野市	箇所名(ふりがな)	広瀬南(ひろせみなみ)				
事業概要	事業目的	当該箇所は、最大勾配47°、がけ高さ107mの急斜面であり、保全対象として崖下に、広瀬神社及び社務所、長野市道が300メートル、民家が11戸、公民館及び集会所がある。平成26年11月22日に発生した地震に伴い、斜面崩落が発生し落石が保全対象付近まで到達した。 崩壊箇所以外の斜面上部は露岩しており、亀裂が多数見受けられ、浮石も多い。法面工及び擁壁工を施工することにより、斜面崩壊による被害を防止したい。								
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1 地域防災力の向上(災害に強い地域づくり)		事業実施の根拠法令等	急傾斜地法					
	関連する事業、計画等									
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	保全対象人家:11戸 公共施設:市道、公民館								
	着手年度	平成27年度	事業期間	5年	事業費(千円)	財源内訳(千円)				
	完成年度(見込み)	平成31年度	費用対効果	2.4	国庫	142,500	15,000	128,250	14,250	
	全体事業内容(主な工種)	擁壁工 L=250m、法面工 L=100m			300,000					
年度事業内容(主な工種)	測量 1式、地質調査 1式、詳細設計 1式			15,000	7,125	750	6,412.5	712.5		
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	土砂災害特別警戒区域指定の解除								
	間接的効果(定量的・定性的)									
評価の視点	必要性	○人家戸数:11戸 ○公共施設:2級市道広瀬中央線、公民館 ○災害時要援護者施設の有無:無 ○避難場所、避難路の有無:無							評価	B
	重要性	○過去の災害履歴:有(神城断層地震) ○交通遮断による地域経済への影響:市道 ○地域防災計画上の位置づけ:無							評価	B
	効率性	○費用対効果(B/C):2.45 ○事業期間:5年 ○工法等の比較検討:検討なし							評価	B
	緊急性	○斜面の高さ:平均高さ68m ○植生:普通 ○斜面平均勾配:42° ○地質:段丘堆積物 ○オーバーハング、遷急線、谷地形、凸地形:有り							評価	A
	計画熟度	○事業情報の共有:関係者以外にも周知 ○地域要望:協力的である ○地域合意:事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働:独自の取り組みを検討中							評価	A
	部意見	保全対象に人家11戸、市道、公民館、神社等がある。地震時に保全対象付近に落石があり、斜面の風化浸食が進んでおり、早期に対策を行う必要がある。	行政改革課意見	H26.11.22の地震により、斜面崩壊が発生し、落石が発生していることから、緊急性が認められる。			評価結果	○	総合評価	B

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



【整備の必要性がわかる状況写真等】



事業概要説明図表

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該箇所は土砂災害防止法の特別警戒区域であり、保全対象として崖下に、長野市道が300メートル、民家が11戸ある。斜面は風化してもろくなっており、最近の神城断層地震により、岩塊の大崩落が発生している。また、大きな転石も存在することから、大雨等により被災のおそれが高い。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成26年11月22日に発生した神城断層地震に伴い、斜面崩落が発生し落石が保全対象付近まで到達した。
③事業説明等の経緯	地震後に緊急調査実施
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	詳細設計時に配慮について検討の予定。
⑥地域活性化への影響と配慮	施設整備による特別警戒区域の解除により、付近の土地利用の活性化が期待される。
⑦その他	

事業代表地点の緯度経度  
北緯:N 36° 67' 72"  
東経:E 138° 13' 71"